

2012年02月16日

トヨタ自動車、台湾でカムリハイブリッドの生産および販売を開始

トヨタ自動車(株)(以下、トヨタ)の台湾における生産事業体である国瑞汽車股份有限公司(以下、国瑞)は、2月15日、同社の観音工場で、カムリハイブリッド(以下、カムリHV)の生産を開始した。台湾でのハイブリッド車の生産は初めてで、トヨタのハイブリッド車の生産拠点として日本以外では7番目。年間生産台数は約7,000台を計画している。

カムリHVの生産開始にあたり、国瑞の星野総経理は「最先端技術を駆使しているカムリHVの生産を、ここ観音工場で開始できることを誇らしく思う。台湾では環境や省エネルギーへの関心が年々高まっており、一台でも多く、我々のハイブリッド車をお客様にお届けしていきたい。」と語った。

また、同車は本日より台湾で販売が開始され、年間販売計画は約7,000台。カムリHVの台湾への導入は今回が初めてで、販売価格は1069千円～1399千円(約275万円～360万円)。

トヨタは、環境への対応を経営の最重要課題のひとつと位置付け、ハイブリッド車をはじめとする環境対応車の普及に向けて積極的に取り組んでいる。昨年末にハイブリッド車の世界累計販売台数は約360万台に達した。

【国瑞概要】(2012年1月現在)

会社名	国瑞汽車股份有限公司(KUOZUI MOTORS LTD.)	
設立時期	1984年4月	
所在地	台湾桃園県中壢(チュウレキ)市	
代表	董事長:蘇 燕輝、総経理:星野 晴秋	
資本構成	トヨタ:65%、 和泰汽車股份有限公司(台湾現地資本、トヨタ、日野の合弁事業体):30%、 日野:5%	
資本金	34.6億元	
従業員数	約4,000人	
	中壢工場(中壢市)	観音工場(観音郷)
生産開始	1986年8月	1995年3月
生産車種	カローラ	ヴィオス、ヤリス、ウィッシュ、 IMV(イノーバ)、 カムリ、カムリハイブリッド、他
工場面積	22.7万平方メートル	33.6万平方メートル
生産能力	年間10万台	年間6.5万台

以上